

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-1 医療機能の確保
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	医療政策課長 家本 賢	電話番号	0852-22-6698
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	地域医療の連携推進		
目的	(1) 対象	医療機関	
	(2) 意図	県民が、どの圏域においても一定程度の医療を適切に受けられるよう、医療機関等の機能を充実させるとともに、医療連携体制の構築を進める。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各医療機関における医療機能の確保・充実を図るため、医療機関等に補助金を交付し、地域に必要な医療機能の強化を図る。</li> <li>各地域における医療機関の連携を進めるため、医療機関等に対して研修会、連絡会、講演会などを行う。</li> <li>医療機関や介護施設等の連携を促進するため、しまね医療情報ネットワークシステム「まめネット」の整備運営を行う。</li> <li>複数の医療機関が相互に連携して医療・介護サービスを提供しようとするモデル的な取組に必要な経費を支援する。</li> <li>在宅医療に関する県民の理解を深めるため、各種媒体等を通じてわかりやすく広報を行う。</li> <li>医療機関等が在宅医療を地域で主体的に推進していくために、必要な経費を支援する。</li> <li>県民に適切な医療を提供するため、医療審議会の運営や医療安全相談などを行う。</li> </ul>		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 救急病院数	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	病院
		取組目標値						
	式・定義 救急告示病院数（県認定）	実績値	25.0					
		達成率	100.0	-	-	-	-	%
2	指標名 訪問看護師数	目標値	300.0	320.0	340.0	360.0	380.0	人
		取組目標値						
	式・定義 訪問看護ステーションに従事する訪問看護師数（常勤換算）	実績値	311.0					
		達成率	103.7	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	1,009,667	954,423
うち一般財源 (千円)	192,227	206,376

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>救急病院数については医師確保の状況は引き続き厳しいが、スタッフの頑張りにより現状を維持している。</li> <li>訪問看護師数については順調に伸びている。</li> <li>まめネットの同意カード発行枚数は25,186枚(対前年比14,066枚増)、参加機関数は782機関(対前年比356機関増)と順調に伸びている。</li> </ul>
---

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<p>「地域医療再生基金」や「地域医療介護総合確保基金」などを財源として事業を進めた結果、まめネットの介護施設等への普及が進み、訪問看護師の増により体制が充実された。</p>
---

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後、地域医療構想に具体的にに対応していくこととなるが、このためには、従事者の確保、医療機関の役割分担、介護の受け皿整備などが必要。</li> <li>中山間地域では、在宅医療の推進が難しい。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療資源が乏しく人材が不足している地域がある。</li> <li>中山間地域では、集落が点在しているために訪問系のサービスが不採算・非効率である。</li> <li>通信環境が悪く「まめネット」が使えない地域もある。</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで、主な財源としていた「地域医療再生基金」がH27で終了。「地域医療介護総合確保基金」を財源として事業を進めているが、ソフト事業の配分額が不足している。</li> <li>医療人材を確保し、「まめネット」を活用した医療介護連携を充実させる。</li> <li>中山間地域において、在宅医療を実施するため、地域の実情に応じた支援策が必要である。</li> </ul>

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>国への重点要望などにより、必要な財源が確保できるよう、国に働きかけていく。</li> <li>医療人材を確保し、「まめネット」を活用した医療介護連携を充実させる。</li> <li>中山間地域において、在宅医療を実施するため、診療所・訪問看護ステーションへの支援を充実させていくほか、地域の実情に応じた支援策を検討する。</li> </ul>
--

9. 追加評価（任意記載）

--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。